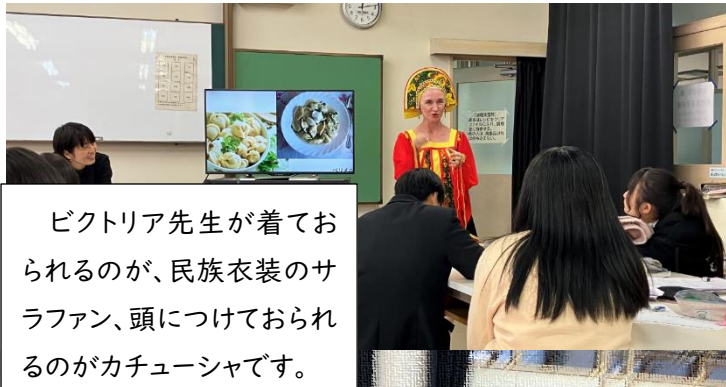


## 家庭発展 特別授業「ロシアの人々の生活文化」

11月19日(火)ビクトリア・トルストワ先生(ロシア民族舞踊研究家)に、ロシアの生活文化についての講義とロシア民族舞踊体験を実施していただきました。

ビクトリア先生は日本舞踊などもたしなまれ、京都を拠点に人同士のつながりを大切にされた日本とロシアの文化交流活動をされています。前半では、今までの日本とロシアでの活動内容の紹介やウクライナ侵攻・ロシアの兵役について平和への思いをお話していただきました。後半は、住居や教育、民族衣装のサラファン、ロシア料理のボルシチやペリメニなど、衣食住を中心とした生活文化について写真を交えながら解説していただきました。最後にロシア民謡(うぐいす)に合わせて、ビクトリア先生の指導のもと、全員でダンスを踊りました。



ビクトリア先生が着ておられるのが、民族衣装のサラファン、頭につけておられるのがカチューシャです。



👉 生徒のレポートより 👈

「ロシアの料理に見たことがあるものが意外とあり、文化でも日本と似た部分があると感じられました。そのことから異なる国の似たような文化を知ることから始めて、異なることを学び、国同士の交流を深めていくことが平和につながるのではないかと考えました。」

「ロシアとウクライナの戦争についても話してもらったけれど、1人1人が平和を作っていくためにはどうすればいいのか考えることは本当に大切だと思った。それに加えて相手の文化などを知り、否定するのではなく、尊重しあうことの大切さをより感じた。1人1人が考え方を持つことでバングラデシュのように状況が変わることもある。偏った情報だけでなく、色々な情報に触れ、何が正しいのか、どうすべきなのか自分の考えをしっかりと持てるようにしようと思う。」

生徒達は3回の特別授業(バングラデシュ・フランス・ロシア)でその国のことだけではなく、生き方や考え方、多様な価値観など家庭科で大事にしている視点もしっかり身に着けました。

ありがとうは **Спасибо** (スパシーバ) だと教えていただき、ロシア語でお礼を伝えながら授業の終わりに、ひとりずつ、お礼のお手紙を渡しました。渡すときに質問したり、昼休みになっても名残惜しく記念写真を撮ったりしている生徒もいました。下の2枚は、ダンスの時のポーズで撮影したものとおなじみマトリョーシカです。

